
ドラえもん～のび太と時の守護神たち～

PeaceMaker

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ドラえもん〜のび太と時の守護神たち〜

【Nコード】

N5481H

【作者名】

PeaceMaker

【あらすじ】

中学卒業と同時にドラえもんが帰った。それから十数年、僕は平和に暮らしていたはずだったが…いきなりの非日常、ドラえもんがいたころは当たり前だったのにな

プロローグ（前書き）

できるだけドラえもん世界観を守りたいと思いますが、苦手な人は遠慮してください。

文才がないのは多少見逃していただきたいと思います。

プロローグ

あれはいつのことだっただろうか…

ドラえもんが未来に帰ったのは

「のびたくん、君はもう一人でもなんでもできる。ボクがいるとどうしても頼ってしまうからボクは未来に帰るよ。」

「そんな…いやだよ。帰っちゃだめだ、ドラえもん。」

「のびたくん、ボクが未来から来た理由を覚えてるかい？」

「たしか…僕の未来を変えて幸せにするためでしょ？今でもドラえもんがいないと僕は何もできないよ。」

「いや、君はボクと過ごしてきて、成長した。これ以上ボクが干渉したらかえって君のためにならないんだ。君はしずかちゃんと結婚して幸せな暮らしをするんだ。」

「わかったよ。ドラえもんにはドラえもんの都合があるしね。今のままじゃいけないんだ。今夜は送別会をしよう。」

(…成長したな、のびたくん。)

その夜はドラ焼きをたくさん買って、パパもママも涙を流しながらドラえもんと最後の話をしたっけ。

夕食の後は2人でたくさん話した。寝ることを忘れるぐらいだ。今までの思い出、これからのことや世間話なんか…

不意にドラえもんが言った。

「のびたくん、泣かないのかい？」

「そうさ、僕は強いからね。それに……」

（泣いたってドラえもんは帰っちゃうんだ。悲しいだけじゃないか。

）いよいよ朝になって、ドラえもんが最後に言った言葉。

「道具は全部持っていくけど、君が本当に困ったときは何を置いてもかけつけるからね。」

「ありがとう、ドラえもん……」

そうだ、ドラえもんは中学卒業と同時に帰ったんだ。

あれからもう十数年か……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5481h/>

ドラえもん～のび太と時の守護神たち～

2010年10月10日12時30分発行